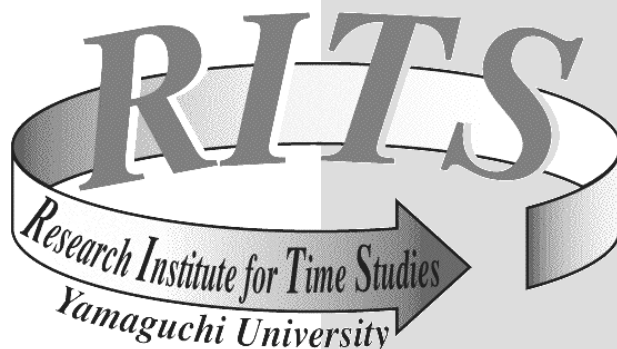


山口大学 時間学研究所 ニュースレター



2007.11.5 No.5

1. イブニングセミナーのお知らせ
2. 講演内容
3. 講演者
4. 会場案内

山口市吉田 1677-1 時間学研究所

<http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp>

(最新の告知は上記ホームページをご覧ください)



イブニングセミナーのお知らせ

山口大学時間学研究所では、自然、人間、社会、文化にみられる時間を総合的に研究しています。このたび、山口大学が主催するイブニングセミナーに、時間学研究所のスタッフが参加することになりました。ふるってご参加ください。(時間学研究所長 辻正二)

イブニングセミナー2007

「宇宙・惑星的時間と認知的時間の多様性」

キャンパス・イノベーションセンター1階 国際会議場 (JR 田町駅前)

定員 100 名 参加費無料 【周辺地図・お問い合わせ先は 4 ページをご覧ください】

平成 19 年 11 月 30 日 (金) 18:00-20:00

「宇宙が今の姿になるまで」 藤沢 健太 (山口大学理工学研究科 准教授)

「日本列島の現在・過去・未来」 鎌田 祥仁 (山口大学時間学研究所 准教授)

平成 20 年 1 月 11 日 (金) 18:00-20:00

「心の時間」 一川 誠 (千葉大学文学部行動科学科 准教授)

「タイムトラベルの論理」 青山 拓央 (山口大学時間学研究所 講師)

【講演内容の詳細は次ページをご覧ください】



講演内容の紹介

「宇宙が今の姿になるまで」

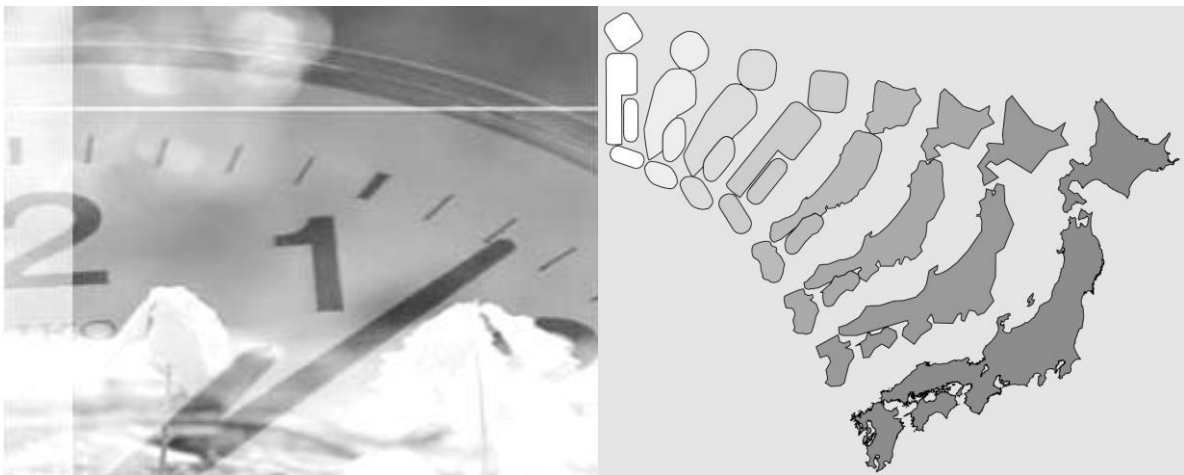
藤沢 健太（山口大学理工学研究科 准教授）

現在の宇宙には、恒星・惑星・星間ガス・銀河・銀河団など、様々な天体があります。宇宙の中の、一つの銀河の中の、一つの恒星＝太陽の周りをまわる地球に、我々は住んでいます。一方、宇宙は約 140 億年前にビッグバンで始まったとされています。ビッグバンから現在までの 140 億年の間に、宇宙にはどのような出来事があり、どのような変化を経て、現在の姿に至ったのか、そしてそのことを人類はどのように知りえたのか、時間の経過をたどりながら解説してみようと思います。

「日本列島の現在・過去・未来」

鎌田 祥仁（山口大学時間学研究所 准教授）

日本列島の基盤がどのように形成されてきたかを時間を追って、説明したいと思います。現在の日本は皆さん、ある程度知っていると思いますが、過去を研究することで未来の日本列島が見えてきます。そうしてみると実は、「現在」の地球上には「過去の日本」と「未来の日本」も在ることが分かります。前者は「今の太平洋」で後者が「今のヒマラヤ」です。日本列島の現在・過去・未来と追って行く中に、こうした大陸と海洋の大きなライフサイクルが隠されています。



「心の時間」

一川 誠（千葉大学文学部行動科学科 准教授）

物理的時間（時計的な時間）の均一性、一様性に対して、体験される時間の多様性をお話しする予定です。具体的には、時間の長さの感じ方における個人差や個体内差、時間に関する錯覚や人間の情報処理の時間的制約に関するデモなどを通して説明した上で、体験される時間が様々な要因によって影響を受けることを解説するつもりです。時間的余裕があれば、現代の高速化した社会における人間の時間的制約の持つ危険性や可能性の話もしたいと考えています。

「タイムトラベルの論理」

青山 拓央（山口大学時間学研究所 講師）

タイムトラベルというとふつう、「今」が別の時点に飛び移るといった現象が想像されますが、面白いことに、物理的時間をもとに考えられているタイムトラベルはそのようなものではありません。そこでは、二つの時間のずれが問題であり、「今」の跳躍はあつかわれなためです。では、「今」の跳躍としてのタイムトラベルとは一種の幻想なのでしょうか。こうした問題を、通常の時間の流れ（通常の「今」の移行）との比較を通して、考えていきたいと思ひます。



講演者の紹介

藤沢 健太（山口大学理工学研究科 准教授）

1967年生まれ。東京大学大学院博士課程修了、宇宙科学研究所研究員、国立天文台助手を経て、2002年度より現職。専門は電波天文学。山口 32m電波望遠鏡を使って観測を行い、ブラックホール、超新星残骸、銀河電波、星形成領域などの研究を行っている。

鎌田 祥仁（山口大学時間学研究所 准教授）

1967年生まれ、筑波大学大学院博士課程修了、1997年度から山口大学理学部助手、2005年度より現職。日本列島の形成、地層に記録されている生物進化や環境変化などの地球史をひもといていく研究を行なっている。

一川 誠（千葉大学文学部行動科学科 准教授）

1965年宮崎県生まれ。大阪市立大学博士課程修了後、カナダ York 大学研究員、山口大学工学部感性デザイン工学科の講師・助教授を経て、2006年度より現職。専門は実験心理学。実験的手法により人間が体験する時間や空間の特性、知覚、認知、感性における規則性の研究を行なう。著書に『大人になると、なぜ1年が短くなるのか?』（共著）など。

青山 拓央（山口大学時間学研究所 講師）

1975年生まれ。千葉大学大学院・日本学術振興会特別研究員を経て、2006年度より現職。哲学的観点から、時間や心の研究を行なう。2006年度には日本科学哲学会主催 石本賞を受賞。著書に『タイムトラベルの哲学』など。



会場案内・お問い合わせ

場所

キャンパス・イノベーションセンター1階
国際会議場（東京都港区芝浦 3-3-6）

田町駅下車 徒歩1分

三田駅下車 徒歩5分

お問い合わせ

〒753-8511 山口市吉田 1677-1

山口大学学術研究部研究推進課

TEL: 083-933-5011

FAX: 083-933-5810

E-mail: yucic-07@yamaguchi-u.ac.jp

主催 国立大学法人山口大学

